

(様式例)

令和7年度 家庭科 授業改善推進プラン

大田区立入新井第一小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・布の縫い方や調理の進め方などやり方を書画カメラに写し実際に見せたり、動画を交えたりした説明を行うことで説明の時間を短縮できたり、理解度が変化したりした。
- ・布を用いた製作では、自分のアイデア（自分の名前を縫ったり、ワンポイントで飾りをつけたりなど）を自ら考え実践できるようにしたことで、児童が意欲的に取り組めた。
- ・「味の素」の出前授業を行うことで、日常生活と学習内容とを関連させながら考えることができた。

(2) 課題

《五年》

- ・裁縫では、針の穴に糸を通す作業や玉結びが難しい児童もいることから引き続き指導を行う必要がある。
- ・既習事項を実践するためにも、ICT等を使用して家庭での課題を行っていく必要がある。
- ・ガスコンロの使い方は、引き続き指導を行う必要がある。

《六年》

- ・一斉指導や実習を通して、学級のためにも全員が進んで協力しようとする態度を養う必要がある。
- ・調理実習や洗濯実習を行うことで、児童の技術の向上をさらに図っていくようにする。
- ・玉子を上手く割ることができないなど、技術の向上を図っていく必要がある。

(2) 分析（観点別）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・布の縫い方や調理の進め方などやり方を書画カメラに写し実際に見せたり、動画を交えたりした説明を行う。・実習を行う際は、進め方を指導するだけでなくポイントや注意点を児童と確認しながら進めていく。	<ul style="list-style-type: none">・布を用いた製作では、自分のアイデア（自分の名前を縫ったり、ワンポイントで飾りをつけたりなど）を自ら考え実践できるように取り組んでいく。・学習形態を工夫するなどして、他者に教えたり伝えたりする力を身に付けたり、表現したりする機会を充実させる。	<ul style="list-style-type: none">・児童が分かりやすい発問や、復習を行うことで、知識の定着を図っていく。・黒板には学習の流れを提示し、授業の見通しがもてるようにしていく。・教材や学習形態を工夫し、日常生活と学習内容とを関連させながら考えさせたり活動させたりする。

